

令和5年度 自治会連合会と地域市民の集い（押立文化センター圏域）・議事録（敬称略）

1. 日時 令和5年9月10日（日）午前10時～12時
2. 場所 押立文化センター 講堂
3. 出席者 19名
4. 書記 松木紀美子
5. 会議の概要 【司会進行：椋田事務局長】

（1）会長挨拶 志水会長

（2）府中市自治会連合会役員と出席者自己紹介

自治会連合会：志水、椋田、山岡、林田、久保寺、川辺、福田、谷本、松木（9名）

押立文化センター圏域：（5 団体：10名）

（3）府中市自治会連合会・自治会についての説明（椋田）

各町会・自治会の抱えている問題等聞かせて頂きたいので省略。

- ・関東大震災100年にあたり東京都の「自治会防災強化助成」の説明(谷本)

（4）五部会の活動状況

・市民協働対策部（山岡）

- ①自治会活動賠償責任保険の申し込み募集中。ぜひ活用してほしい。
- ②市民協働まつりへ出展するので見に来てほしい。
- ③自治会町会加入率の減少対策として、市長と自治連役員との懇談を行った。キーになるのは「防災」「身近な課題」「楽しく」。

・生活安全対策部（林田）

- ①様々な市の企画に参加している。（例：交通安全パレード）
- ②無線機の貸与をして、地域の情報伝達が上手くいくようしている。
- ③防災用として発電機「エネポ」の紹介をしているが、カセットボンベ使用でパワーがもっと欲しい場合、プロパンガス使用のものも紹介している。

・環境対策部（川辺）

- ①市の空き家対策の取り組みに参加しているがなかなか難しい。
- ②スマートエネルギー展へバス見学会を予定。今後は何か別のものも検討したい。

・福祉対策部（久保寺）

- ①4つの市の福祉関係の委員会等に参加している。
- ②10月15日には福祉まつりで町会自治会と自治連の活動をPRする予定。

・デジタル化対策部会（福田）

新しい活動で課題解決していきたい。特に若い世代にアプローチして参加を促していく予定だが、デジタルとアナログを併用するのでしばらくは手間がかかると思われる。便利さと楽しさを感じてもらい次につなげたい。まずは、ノウハウの共有のため現状分析と支援活動を就寝に行う。

- ・NECが開発した避難行動支援システムと市の動向に注目している。

（5）懇談会

- ①「関東大震災100年」の助成金を個人向けにするか、町会全体のものに使うかを検討中。自主防災連絡会で今年度中に地域に5か所の防災倉庫が新しくできるのでその中身はどうかと考えている。（発電機等）また、4mの水没予想地帯なのでそれも考量している。元々農村地域なので意外とリヤカーなどは個人で持っている。

・自治連：防災倉庫の中身については5か年の計画を立てて運用してほしい。特に食品は好みやアレルギーがあるので、各家で対応した方がよい。ローリングストックの考え方を取り入れて。発電機エネポは大体30世帯に1台あるとよい。使用するカセットボンベは各家庭で持つとよい。昔の防災倉庫は防災に活用されていないのは、管理がうまくいっていないことが多い。カギについても有無について意見が分かれる。ダイヤルキー

にして、スマホなどに番号を入れているところもある。

②スタンドパイプは外でくさをかけてダイヤルキーをつけていたが、今は防災倉庫にいった。普段使いをしないと維持管理が難しい。エネポの油も古くなると交換が必要では。

・自治連：定期的に使ってなくなれば交換は不要。例えば月1回の役員会後などに実施してほしい。

③エネポにホンダの純正ポンペを使っているが、他の会社のものでもよいか？

・自治連：JIS企画の商品なので、他社のものでも問題はない。

④オイル交換が心配。

・自治連：空抜きしなくても減った分を足せばよい。5年に一度で大丈夫。

エネポは室外のみで使えるので、発電したものをポータブル電源に入れて室内で使用できる。

普段使いとして、公園清掃の時に動かしているところもある。

⑤町会の中で例えば防災の話をするときにいろいろなことを計画すると、合意や参加が得られない。70～80歳の高齢者が多いため、退会が増えていて、次の役員育成が難しい。仲間づくりとして懇親会を班ごとに実施できるようにと補助金を出しているが、やらないところから不満が出る。班によって意見や希望が違っている。

⑥うちの自治会では、コロナ禍が落ち着いてから、管理組合と自治会と管理会社で年に1回懇親会を実施している。

⑦若い人が役員になって、その班では花火を子どもたちとやってそのあとに懇親会を実施していた。

若い人向けに子どもが生まれたところに祝い金を出している。

⑧入学祝金とサークル活動への支援として、シニアクラブと子ども会に補助を出している。

⑨町会費のみでの運営だと、交流のための補助金など出すのが難しい。

・自治連：資金の調達方法として、公園清掃や資源物回収があるが、資源物回収については業者によって家の前まで取りに来てくれるところもあり金額も様々。市に窓口があり業者の一覧があるので、各地域の事情に合わせて選ぶと良いのでは。

⑩集合住宅で6棟4階だが、消防法上消火器を1階にしか置かなくてもよいことになっている。他の階にも置きたい。今回の補助金は消火器も対象か？

・自治連：対象となっている。そのほか、エレベーター内における防災キャビネットなども対象。

⑪消火器の交換はどのタイミングで行うのか？

・自治連：5年が使用期限。最近では人件費が高いので、詰め替えよりも新規購入の方が安いかもしれない。

⑫自治会内でリクリエーション等を行っていないが、防水・防災訓練実施の後で、炊き出し訓練と子どもたちが消防士の衣装が着られるようにしている。小さいながらも自衛消防団もありみんな参加してくれている。

(6) 閉会挨拶